

萩原朔太郎生誕130年記念 前橋文学館企画展

はじめて出逢ったあの日へ

—教科書の中の萩原朔太郎—

会 期：2017年1月21日(土)
- 3月18日(土)

開館時間：9時-17時

休 館 日：水曜日

会 場：3階 オープンギャラリー

観 覧 料：無料

◆特別企画展・常設展示をご覧になる際は観覧料が必要です
協 力：三省堂 群馬県総合教育センター
前橋市総合教育プラザ

2017

1.21 sat

-3.18 sat

closed on Wednesday

9:00-17:00



はじめて出逢ったあの日へ

— 教科書の中の萩原朔太郎 —

戦後、現在の教科書制度が行われるようになってから、朔太郎の詩や詩論は、400を超える高校の教科書に採用されてきました。また、その作品数も50編を越えています。萩原朔太郎は、国民詩人の一人として、ひろく読み継がれているのです。

本展示会は、教科書掲載の朔太郎作品を、初出の教科書やパネルで展示し、朔太郎詩の原稿を展示します。

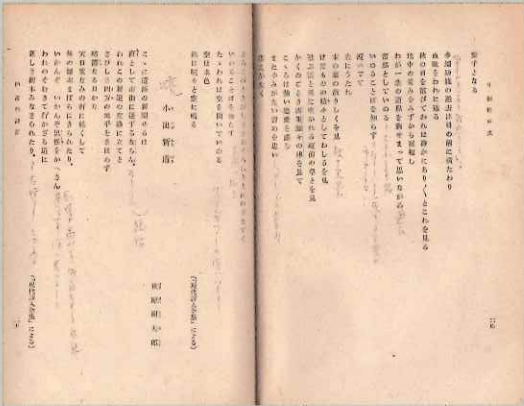
あわせて、1950年代から現在までの代表的な文学作品等を時代背景として展示します。

誰もが教科書の中で出会い、その名を知った朔太郎。あなたほどの教科書の、どの朔太郎の詩を読んできましたか。

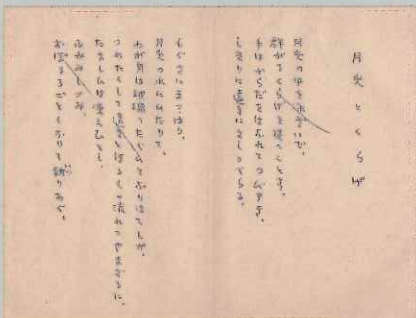
朔太郎詩 最初の掲載教科書



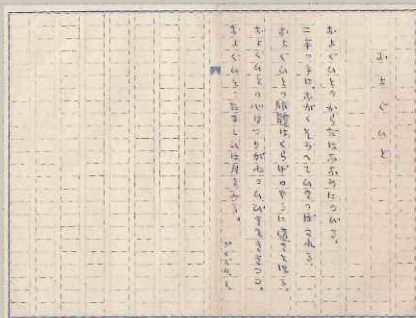
『新国語われらの読書—』
表紙 / 三省堂・1950年
『小出新道』に掲載



『新国語われらの読書—』 / 中面 / 三省堂・1950年
『小出新道』掲載 (前橋市総合教育プラザ蔵)



『月光とくらげ』(萩原朔太郎原稿)
『精選国語2新訂版』(明治書院・1986年)に掲載。



『およぐひと』(萩原朔太郎原稿)
『高等学校現代国語三』(角川書店・1975年)に掲載。



『漂泊者の歌』(萩原朔太郎原稿)
『新国語(改訂版)文学二』(三省堂・1952年)に掲載。

萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち 前橋文学館

1月15日(日)-3月14日(火)

特別企画展「第24回萩原朔太郎賞受賞者・日和聡子展」が開催されています。

《記念イベント》

2月25日(土)午後2時から、日和聡子さんのお話や詩の朗読を行います。
電話、メールでの事前申し込みが必要です。(1月15日から受け付けます。)

萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち 前橋文学館

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10 TEL. 027-235-8011 FAX. 027-235-8512
URL <http://www.maebashibungakukan.jp/> E-mail bungakukan@city.maebashi.gunma.jp
電車 ◆ JR前橋駅から徒歩約20分 / 上毛電鉄中央前橋駅から徒歩約5分
自動車 ◆ 関東自動車道 前橋ICから車で約15分



市営パーク城東のご利用に際しては、駐車券に割引処理いたします。